

# おめでとうございます

平成30年度の市政功労者、教育功労者が決定しました。

## 市政功労者

功績が極めて顕著で、市政の振興発展に貢献した人に贈られます。

### 杉本 健次さん

(大字夏吉)

平成8年7月から平成29年7月までの21年間に、農業委員として、豊富な知識と経験に基づき農地の許認可、耕作放棄地の解消、農業経営の安定と改善、担い手の育成・確保に取り組みました。

地域活動では、長年にわたり、農地の利用計画などを取りまとめるとともに、認定農業者として中心的な役割を果たしてきました。

### 川口 俊憲さん

(大字夏吉)

昭和50年9月から平成20年4月までの永きにわたり、奉仕の精神の下、消防団員を務められました。

この間、消防任務の重要性を自覚し、副団長として団員の規律保持や技術向上に努め、住民の生命の安全、財産保護のため献身的に職務を遂行するとともに、消防の

将来を展望して消防力の機動化、団員の処遇改善に力を注ぎました。

### 堀江 昭美さん

(大字猪国)

平成4年9月から現在まで、田川市男女共同参画審議会委員、田川市情報公開・個人情報保護審議会委員、田川市表彰審査委員会委員、田川市政治倫理審査委員会委員などさまざまな委員を務めており、女性ならではの意見を発信して、男女共同参画の視点で幅広い分野に大いに尽力されました。

また、たがわ21女性会議の発足当時から活動しており、代表就任後も人情味あふれる人柄で遺憾なくリーダーシップを発揮し、本市の男女共同参画社会の形成に貢献されました。

### 星野 哲さん

(大字猪国)

平成2年3月から現在までの28年間の永きにわたり、田川保護区保護司を務め、社会福祉の向上に尽力されました。

この間、保護観察対象者の更生援護活動や犯罪予防活動に献身されるとともに、更生保護思想の普

及高揚に貢献されました。現在も、田川保護区保護司会理事と同会の田川支部長として活躍しています。

▼問い合わせ 安全安心まちづくり課 (☎85・7113)

## 教育功労者

市の教育、学術、文化の振興に貢献した人や団体に贈られます。

### 山本 三司さん

(大字伊田)

平成元年から公民館を拠点に子どもを主体とした地域活動を始め、公民館主事を経た後、公民館館長を務めるなど、長年にわたり地域の生涯学習の推進に寄与されています。

中でも、松原3区の「勇仁太鼓」を立ち上げて子どもたちと交流を深め、代表者として太鼓を通じた教育文化活動の推進に積極的に取り組むなど、さまざまなボランティア活動で青少年の健全育成に多大な貢献をされています。

▼問い合わせ 教育総務課

(☎85・7165)

## ドイツの子どもたちの安眠を守る「Unser Sandmännchen」

「Abendgruß」(夜のあいさつ)を見ます。映画を見た後、砂小男は麻袋から「眠りの砂」を取り出して、子どもにふりかけます。すると、子どもたちはすぐに眠たくなり、安心して眠ることができるのです。番組が初めて放送された1959年は、ドイツが西ドイツと東ドイツに分かれていたため、東西ドイツが統一されるまでは、2つの「Unser Sandmännchen」の番組が放映されていました。現在では、東ドイツの「Sandmännchen」が残り、今でもドイツ全国の子どもたちに愛されています。

今日の言葉  
Gute Nacht (お休みなさい)

ドイツの子どもたちが寝る時間を楽しみにしている理由は、ドイツのアニメ番組に登場する「Sandmännchen」というキャラクターがいるからです。「Unser Sandmännchen」(私たちの砂小男)は、1959年から毎日の夕方10分間に放送されている子ども向けのアニメ番組です。砂小男は、サンタクロースと同じ白いひげのある小さな男性です。「眠りの砂」を麻袋で運び、毎回子どもたちの家を訪ねて、寝る前の子どもたちと一緒に短編映画



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)のアネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中!  
<https://tagawacir.wordpress.com>

スマホ、携帯電話は  
こちらから  
QRコード→

